

## 「研究用ヒト臍帯血の利用状況に関する調査」 調査票 内容

※選択によって、次の問いが異なります。

2023年1月17日 NBRP研究用ヒト臍帯血バイオリソース事業

### ■ 問 1 以下のうち、あなたが現在所属している学会、団体があればお選び下さい。(いくつでも)

- |                                    |                  |
|------------------------------------|------------------|
| 理研バイオリソース研究センター 利用者 また<br>1 は利用経験者 | 14 日本人類遺伝学会      |
| 2 日本アレルギー学会                        | 15 日本造血・免疫細胞移植学会 |
| 3 日本遺伝子治療学会                        | 16 日本組織培養学会      |
| 4 日本ウイルス学会                         | 17 日本ヒト細胞学会      |
| 5 日本エイズ学会                          | 18 日本分子生物学会      |
| 6 日本炎症・再生医学会                       | 19 日本免疫学会        |
| 7 日本癌学会                            | 20 日本免疫治療学研究会    |
| 8 日本感染症学会                          | 21 日本薬学会         |
| 9 日本癌治療学会                          | 22 日本薬理学会        |
| 10 日本寄生虫学会                         | 23 日本輸血・細胞治療学会   |
| 11 日本血液学会                          | 24 日本臨床免疫学会      |
| 12 日本再生医療学会                        | 25 当てはまるものがない    |
| 13 日本産婦人科学会                        | 26 その他( )        |
| 14 日本周産期・新生児医学会                    |                  |

### ■ 問 2 あなたのお勤め先の業種をお選び下さい。(主なものを、一つだけ)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 大学・教育機関       | 11 製造業(自動車・輸送機器) |
| 2 国公立の研究機関      | 12 その他の製造業       |
| 3 医療機関          | 13 情報・通信         |
| 4 政府・行政機関       | 14 金融・証券         |
| 5 製造業(医薬品・診断薬)  | 15 商社・流通         |
| 6 製造業(化学・繊維)    | 16 その他のサービス業     |
| 7 製造業(食品・飲料)    | 17 農林・水産・畜産・園芸   |
| 8 製造業(エレクトロニクス) | 18 建設・土木         |
| 9 製造業(環境・エネルギー) | 19 その他の民間企業      |
| 10 製造業(精密機械)    | 20 その他( )        |

### ■ 問 3 あなたのお勤め先の総従業員数をお選び下さい。(一つだけ)

- |          |               |
|----------|---------------|
| 1 4人以下   | 7 100～299人    |
| 2 5～9人   | 8 300～999人    |
| 3 10～19人 | 9 1000～1999人  |
| 4 20～29人 | 10 2000～4999人 |
| 5 30～49人 | 11 5000人以上    |
| 6 50～99人 | 12 該当なし       |

### ■ 問 4 あなたの地位・役職をお選び下さい。(いくつでも)

- 1 研究者(ポスドクなどを含む)
- 2 大学生・大学院生
- 3 研究主任
- 4 大学教職員(教授、准教授、講師、助教など)
- 5 病院長・理事長
- 6 会長・社長・役員
- 7 部長クラス
- 8 課長クラス
- 9 係長・主任クラス
- 10 一般社員／職員
- 11 パート／アルバイト
- 12 派遣・紹介予定派遣
- 13 その他( )

■ 問 5 あなたがお持ちの資格があれば、お選び下さい。(いくつでも)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1 医師            | 7 臨床工学技士      |
| 2 歯科医師          | 8 臨床培養士       |
| 3 薬剤師           | 9 細胞治療認定管理師   |
| 4 助産師           | 10 栄養士        |
| 5 看護師           | 11 獣医師        |
| 6 臨床検査技師・衛生検査技師 | 12 当てはまるものはない |
|                 | その他 ( )       |

■ 問 6 (民間企業にお勤めの方にお尋ねします) あなたの所属部門をお選び下さい。(一つだけ)

- 1 経営、社業全般
- 2 医療
- 3 研究・開発
- 4 製造・生産
- 5 製品企画・調査・コンサルティング
- 6 資材・購買
- 7 営業・営業技術
- 8 情報システム
- 9 広報・宣伝・マーケティング
- 10 知財・法務・財務
- 11 投資・ベンチャーキャピタル
- その他( )

■ 問 7 以下のうち、あなたが携わっている研究分野をお選び下さい。(いくつでも)

- |         |             |
|---------|-------------|
| 1 再生医療  | 11 分子生物学    |
| 2 免疫学   | 12 遺伝学      |
| 3 血液学   | 13 ゲノム科学    |
| 4 発生学   | 14 薬学       |
| 5 ウイルス学 | 15 創薬       |
| 6 感染症学  | 16 看護学      |
| 7 寄生虫学  | 17 小児科学     |
| 8 遺伝子治療 | 18 胎児・新生児医学 |
| 9 癌     | 19 歯学       |
| 10 脳神経  | 20 その他( )   |

■ 問 8 以下のうち、あなたが研究に用いている材料をお選び下さい。(いくつでも)

- 1 ヒト細胞
- 2 マウス/ラット細胞
- 3 ヒトES細胞
- 4 マウスES細胞
- 5 ヒトiPS細胞
- 6 マウスiPS細胞
- 7 癌細胞
- 8 免疫細胞
- 9 その他の細胞( )
- 10 細胞は扱っていない

あなたの部署における臍帯血を用いた研究についてお尋ねします。

■ 問9 あなたの部署では、臍帯血を用いた研究を行っていますか。（一つだけ）

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| 1 行っている                 | ⇒問10へ |
| 2 具体的な利用計画がある／利用を検討している | ⇒問30へ |
| 3 具体的な計画はないが、利用する可能性はある | ⇒問30へ |
| 4 かつては行っていたが、研究を中止した    | ⇒問37へ |
| 5 将来にわたって、利用しないと思う      | ⇒問49へ |

➤ ここからは、問9で「臍帯血を用いた研究を行っている」と回答した方にお尋ねします。

■ 問10 あなたの部署では、（1）どのような目的で臍帯血を利用していますか。（2）今後、利用したいと思う目的には何がありますか。

（各々、いくつでも）

	(1) 現在、利用している	(2) 今後も、利用してみたい
血液疾患研究(RBC、WBC、血小板等に関する疾患研究)		
血液幹細胞研究(移植に関する研究など)		
免疫学研究(リンパ球、NK細胞、樹状細胞、マクロファージなど)		
間葉系幹細胞などに関する研究		
感染症に関する研究		
遺伝子治療又は遺伝子細胞治療に関する研究		
ヒト化マウスの作成による研究		
ゲノム研究		
iPS細胞樹立への利用		
プロテオミクス研究		
その他		

■ 問10で「その他」を選ばれた方は、具体的な内容をお書き下さい。

- (1)「その他」を選択された方で、現在利用している具体的な内容をお書きください。(自由記載)  
 (2)「その他」を選択された方で、今後利用してみたい具体的な内容をお書きください(自由記載)

■ 問11 あなたの部署では、現在、臍帯血を1年間にどれくらい使用していますか。（一つだけ）

1. 1～4検体／年
2. 5～9検体／年
3. 10～19検体／年
4. 20～29検体／年
5. 30～49検体／年
6. 50～99検体／年
7. 100～199検体／年
8. 200～299検体／年
9. 300～499検体／年
10. 500～／年

■ 問12 あなたの部署では、今後（1～2年後を想定して下さい）、臍帯血を1年間にどれくらい使用すると思いますか。（一つだけ）

1. 1～4検体／年
2. 5～9検体／年
3. 10～19検体／年
4. 20～29検体／年
5. 30～49検体／年
6. 50～99検体／年
7. 100～199検体／年

8. 200～299検体／年
9. 300～499検体／年
10. 500～検体／年
11. わからない

■ 問 13 臍帯血にHLA情報が付加された場合、あなたは利用したいと思いますか。（もっとも近いものを、一つだけ）

- 1 HLA情報は不要
- 2 価格が変わらないならば利用したい
- 3 価格が高くなっても利用したい
- 4 その他()

■ 問14\_あなたの部署の、現在の臍帯血の入手先をお知らせください。（一つのみ選択）

- 1 理研BRC ⇒問15へ
- 2 理研BRC以外から入手している ⇒問45へ
- 3 理研BRC及び理研BRC以外からも入手している ⇒問15へ

➤ ここからは、問14で「研究用臍帯血を理研BRCから入手している」または「理研BRC及び理研BRC以外からも入手している」と回答した方にお尋ねします。

理研BRCから提供中の試料の種類

- 1.有核細胞 (3×10<sup>8</sup>個以上/bag):臨床用と同様にHES法(Hydroethylstarch)にて分離した凍結有核細胞
- 2.単核細胞(小容量 1×10<sup>7</sup>個/tube):Ficoll法にて分離した凍結単核細胞(好中球≤20%) 4本1セットで
- 3.単核細胞(大容量 1×10<sup>8</sup>個以上/bag):Ficoll法にて分離した凍結単核細胞(好中球≤20%)
4. CD34陽性細胞(1×10<sup>5</sup>個/tube):単核細胞よりMACS磁気ビーズで分離した凍結CD34+細胞(純度>90%)

■ 問15\_あなたの部署で現在、利用している臍帯血試料はどれですか。（いくつでも）

- 1 有核細胞
- 2 単核細胞(小容量)
- 3 単核細胞(大容量)
- 4 CD34陽性細胞

■ 問 16 現在、理研BRCが提供している臍帯血試料の容量(細胞数)は以下の通りです。これについて、あなたはどのように思いますか。(各々、一つずつ)

	もっと細胞数が多い試料を提供して欲しい	適量だと思う	もっと細胞数が少ない試料を提供して欲しい
1 有核細胞(3×10 <sup>8</sup> 個/bag)			
2 単核細胞(1×10 <sup>7</sup> 個/tube)4本1セット			
3 単核細胞(大容量1×10 <sup>8</sup> 個/bag)			
4 CD34陽性細胞(1×10 <sup>5</sup> 個/tube)			

■ 問 17 問17\_あなたの部署で今後も、利用してみたいと思う臍帯血試料はありますか。※引き続き、利用する細胞についてもお選びください。(いくつでも)

- 1 有核細胞(3×10<sup>8</sup>個/bag)
- 2 単核細胞(1×10<sup>7</sup>個/tubeの4本を1セットで)
- 3 単核細胞(大容量1×10<sup>8</sup>個/bag)
- 4 CD34陽性細胞(1×10<sup>5</sup>個/tube)

■ 問 18 CD34陽性細胞の提供についてお尋ねします。現在、理研BRCでは単一ドナーから調製純化されたCD34陽性細胞を提供しておりますが、複数ドナーから調製純化されたCD34陽性細胞についても利用可能と思えますか。

- 1 複数ドナーからのCD34陽性細胞の利用も可能である ⇒問20へ
- 2 単一ドナーから調製されたCD34陽性細胞のみ利用する ⇒問21へ
- 3 CD34陽性細胞を利用予定はないため、わからない ⇒問21へ

➤ ここからは、問18で「複数ドナーからのCD34陽性細胞の利用も可能である」と回答した方にお尋ねします。

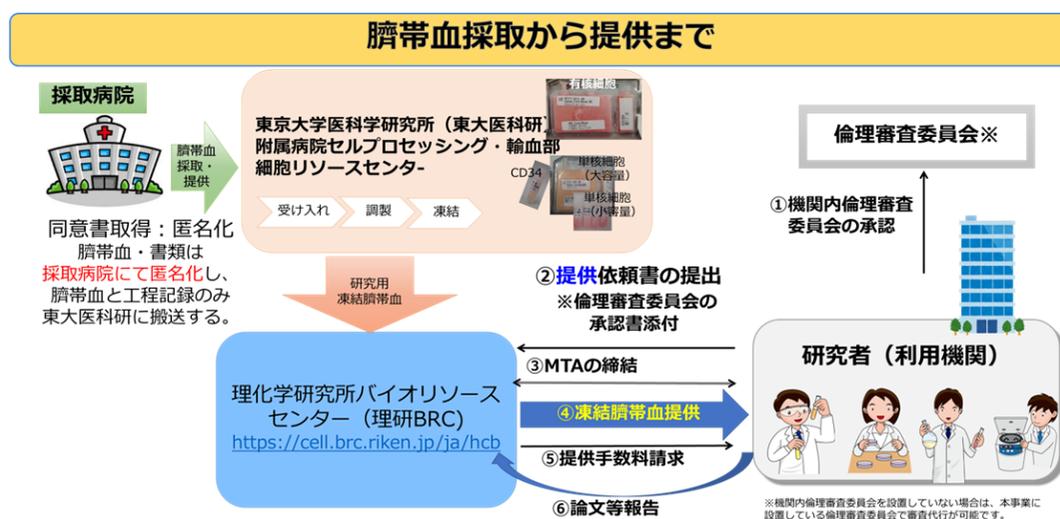
■ 問 19 複数ドナーから調製されたCD34陽性細胞の利用を検討するにあたり、重要視する条件はありますか。(一つのみ)  
 価格に関わらずCD34陽性細胞を利用したい  
 ドナー数が2ドナーまでなら利用したい

- ドナー数が3ドナーまでなら利用したい
- 単一ドナー由来CD34陽性細胞と価格が変わらないならば利用したい
- 単一ドナー由来CD34陽性細胞と価格よりも安価であれば利用したい

■ 問 20 以下に挙げる項目のうち、理研BRCが品揃えを充実したり、今後、整備すべきだと思う臍帯血試料には何がありますか。(いくつでも)

- 1 CD3T陽性細胞
- 2 CD4陽性細胞
- 3 CD8陽性細胞
- 4 樹状細胞
- 5 間葉系幹細胞
- 6 HLA情報が付与されている臍帯血
- 7 血小板
- 8 新鮮臍帯血(未処理/未凍結)
- 9 その他( )

■ 問 21 理研BRCでは、臍帯血を提供する際に、倫理審査委員会の承認手続きをお願いしています。この手続きについて、あなたはどのように思いますか。(一つだけ)



- 1 妥当だと思う
- 2 必要だとは思いますが、手続きは簡素化してほしい
- 3 倫理審査自体が不要だと思う
- 4 わからない

■ 問 22 理研BRCが臍帯血の提供を中止したとすると、あなたの研究に支障はありますか。(一つだけ)

- 1 支障がある
- 2 支障はない
- 3 どちらとも言えない

■ 問 23 あなたは、研究用臍帯血を理研BRC以外からも入手していますか？

- 1 はい ⇒問24へ
- 2 いいえ ⇒問54へ

➤ ここからは、問14で「臍帯血を理研BRC以外の機関から入手している」と回答した方にお尋ねします。

■ 問 24 あなたは、文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクトの一環で、理研BRCが臍帯血試料を提供していることをご存じでしたか。(一つだけ)

- 1 知っていた ⇒ 問25へ
- 2 知らなかった ⇒ 問27へ

➤ この設問は、問24で「理研BRCが臍帯血試料を提供していることを知っていた」と回答した方にお尋ねします。

■ 問 25 あなたは、「理研BRCが臍帯血試料を提供していること」は、どちらでお知りになりましたか。(いくつでも)

- 1 理研BRCのホームページ
- 2 ナショナルバイオリソースプロジェクトのホームページ

- 3 学会のブース
- 4 研究コミュニティの中
- 5 その他

■ 問 26 あなたの部署で、理研BRCの臍帯血試料を利用していない理由をお知らせください。(いくつでも)

1. 提供手数料が高い
2. 利用手続きの書類が多い
3. MTA契約が必要だから
4. 倫理審査委員会の承認が必要だから
5. 品質に不安がある
6. 理研BRCの事業内容をよく知らない
7. 自分が必要とする細胞ではない
8. その他

➤ 「研究用ヒト臍帯血細胞を理研BRC以外の機関から入手している」と回答した全ての方にお尋ねします。

■ 問 27 あなたの部署で今後、利用してみたいと思う理研BRCの研究用臍帯血試料はありますか。(いくつでも)

- 有核細胞
- 単核細胞
- CD34陽性細胞
- わからない

■ 問 28 現在、理研BRCが提供している臍帯血試料の容量(細胞数)は以下の通りです。

理研BRCから提供中の試料の種類

1. 有核細胞 (3 × 10<sup>8</sup>個以上/bag):臨床用と同様にHES法(Hydroethylstarch)にて分離した凍結有核細胞
2. 単核細胞(小容量 1 × 10<sup>7</sup>個/tube):Ficoll法にて分離した凍結単核細胞(好中球 ≤ 20%) 4本1セットで
3. 単核細胞(大容量 1 × 10<sup>8</sup>個以上/bag):Ficoll法にて分離した凍結単核細胞(好中球 ≤ 20%)
4. CD34陽性細胞(1 × 10<sup>5</sup>個/tube):単核細胞よりMACS磁気ビーズで分離した凍結CD34+細胞(純度 > 90%)

これについて、あなたはどのように思いますか。(各々、一つずつ)

もっと細胞数が多い試料を提供して欲しい    適量だと思う    もっと細胞数が少ない試料を提供して欲しい    わからない

- 1 有核細胞 (3 × 10<sup>8</sup>個/bag)
- 2 単核細胞 (1 × 10<sup>7</sup>個/tube) 4本1セットで
- 3 単核細胞(大容量 1 × 10<sup>8</sup>個/bag)
- 4 CD34陽性細胞 (1 × 10<sup>5</sup>個/tube)

■ 問 29 以下に挙げる項目のうち、今後、理研BRCの臍帯血試料で、品揃えを充実したり、整備すべきだと思うものはありますか。(いくつでも)

1. CD3陽性T細胞
2. CD4陽性T細胞
3. CD8陽性T細胞
4. 樹状細胞
5. 間葉系幹細胞
6. HLA情報が付与されている臍帯血
7. 新鮮臍帯血(未処理/未凍結)
8. 臍帯血から抽出された核酸(DNA・RNA)や蛋白
9. その他

➤ ここからは、問9で、臍帯血を用いた研究について「具体的な利用計画がある/利用を検討している」「具体的な計画はないが、利用する可能性はある」と回答した方にお尋ねします。

■ 問 30 あなたの部署では、以下の目的で臍帯血を使う可能性はありますか。(各々、いくつでも)

1. 血液疾患研究(RBC、WBC、血小板等に関する疾患研究)
2. 血液幹細胞研究(移植に関する研究など)
3. 免疫学研究(リンパ球、NK細胞、樹状細胞、マクロファージなど)
4. 間葉系幹細胞などに関する研究
5. 感染症に関する研究
6. 遺伝子治療又は遺伝子細胞治療に関する研究
7. ヒト化マウスの作成による研究
8. ゲノム研究
9. iPS細胞樹立への利用
10. プロテオミクス研究

11. その他

■ 問 31 あなたの部署での、今後1～2年を想定した、臍帯血の年間の使用量をお知らせください。(一つだけ)

1. 1～4検体／年
2. 5～9検体／年
3. 10～19検体／年
4. 20～29検体／年
5. 30～49検体／年
6. 50～99検体／年
7. 100～199検体／年
8. 200～299検体／年
9. 300～499検体／年
10. 500～／年

■ 問 32 臍帯血にHLA情報が付加された場合、あなたは利用したいと思いますか。(もっとも近いと思われるもの)(一つだけ)

1. HLA情報は不要
2. 価格が変わらないならば利用したい
3. 価格が高くなっても利用したい
4. わからない

■ 問 33 あなたの部署で、今後、臍帯血を利用することになった場合の臍帯血の入手先をお知らせください。(いくつでも)

1. 理研BRC
2. 移植用臍帯血バンク
3. 大学病院の産婦人科
4. 一般病院の産婦人科
5. 市販品(LONZA社)
6. 市販品(STEMCELL社)
7. 市販品(フナコシ)
8. 市販品(その他の企業、または、企業名までは分からない)
9. わからない
10. その他

以下は、理研BRCにて、研究用ヒト臍帯血バイオリソース事業(文科省)として扱っている試料です。

理研 BRC から提供中の試料の種類

- 1.有核細胞 (3×10<sup>8</sup> 個以上/bag):臨床用と同様に HES 法(Hydroethylstarch)にて分離した凍結有核細胞
- 2.単核細胞(小容量 1×10<sup>7</sup> 個/tube):Ficoll 法にて分離した凍結単核細胞(好中球≤20%)4本1セットで
- 3.単核細胞(大容量 1×10<sup>8</sup> 個以上/bag):Ficoll 法にて分離した凍結単核細胞(好中球≤20%)
4. CD34 陽性細胞(1×10<sup>5</sup> 個/tube):単核細胞より MACS 磁気ビーズで分離した凍結 CD34+細胞(純度>90%)

■ 問 34 あなたの部署で今後、利用してみたいと思う臍帯血試料はありますか。(いくつでも)

1. 有核細胞
2. 単核細胞
3. CD34陽性細胞
4. わからない／当てはまるものはない

■ 問 35 現在、理研BRCが提供している研究用ヒト臍帯血試料の容量(細胞数)は以下の通りです。これについて、あなたはどのように思いますか。(各々、一つずつ)

	もっと細胞数が多い試料を提供して欲しい	適量だと思う	もっと細胞数が少ない試料を提供して欲しい	わからない
有核細胞(3×10 <sup>8</sup> 個/bag)	1	2	3	4
単核細胞(1×10 <sup>7</sup> 個/tube)4本1セットで	1	2	3	4
単核細胞(大容量1×10 <sup>8</sup> 個/bag)	1	2	3	4
CD34陽性細胞(1×10 <sup>5</sup> 個/tube)	1	2	3	4

■ 問 36 以下に挙げる項目のうち、今後、理研BRCの臍帯血試料で、品揃えを充実したり、整備すべきだと思うものはありますか。(いくつでも)

1. CD3陽性T細胞
2. CD4陽性T細胞

3. CD8陽性T細胞
4. 樹状細胞
5. 間葉系幹細胞
6. HLA情報が付与されている臍帯血
7. 新鮮臍帯血(未処理/未凍結)
8. 臍帯血から抽出された核酸(DNA・RNA)や蛋白
9. その他

➤ ここからは、問9で、「かつて、臍帯血を用いた研究を行っていたが、現在は中止している」と回答した方にお尋ねします。

■ 問 37 あなたの部署では、かつてどのような目的で臍帯血を利用していましたか。(いくつでも)

1. 血液疾患研究(RBC、WBC、血小板等に関する疾患研究)
2. 血液幹細胞研究(移植に関する研究など)
3. 免疫学研究(リンパ球、NK細胞、樹状細胞、マクロファージなど)
4. 間葉系幹細胞などに関する研究
5. 感染症に関する研究
6. 遺伝子治療又は遺伝子細胞治療に関する研究
7. ヒト化マウスの作成による研究
8. ゲノム研究
9. iPS細胞樹立への利用
10. プロテオミクス研究
11. その他

■ 問 38 あなたの部署においてかつて使用した、臍帯血の年間使用量をお知らせください。(一つだけ)

1. 1~4検体/年
2. 5~9検体/年
3. 10~19検体/年
4. 20~29検体/年
5. 30~49検体/年
6. 50~99検体/年
7. 100~199検体/年
8. 200~299検体/年
9. 300~499検体/年
10. 500~/年

■ 問 39 臍帯血にHLA情報が付加されていた場合、あなたは利用していたと思いますか。(もっとも近いと思われるもの)(一つだけ)

1. HLA情報は不要
2. 価格が変わらないならば利用したい
3. 価格が高くなっても利用したい
4. わからない
5. その他

■ 問 40 研究を中止した理由をお知らせください。(いくつでも)

1. 研究が終了したから
2. 途中評価にて不要と判断したから
3. 期待した結果が出なかったから
4. 研究費不足
5. 人事異動
6. プロジェクトの中止
7. 臍帯血の品質に問題があったから(生細胞率が低い)
8. その他

■ 問 41 再度、研究に取り組む可能性と、それに必要なことをお知らせください。(いくつでも)

1. 臍帯血の試料の種類
2. 研究費
3. 人材
4. 研究材料
5. 研究設備
6. その他 ( )

■ 問 42 あなたの部署における、当時の臍帯血の入手先をお知らせください。(いくつでも)

- 理研BRC ⇒ 問43へ  
理研BRC以外 ⇒ 問49へ

➤ ここからは、問42で「研究用ヒト臍帯血細胞を理研BRCから入手していた」または「理研BRC及び理研BRC以外からも入手していた」と回答した方にお尋ねします。

理研BRCから提供中の試料の種類

- 1.有核細胞(3×10<sup>8</sup>個以上/bag):臨床用と同様にHES法(Hydroethylstarch)にて分離した凍結有核細胞
- 2.単核細胞(小容量 1×10<sup>7</sup>個/tube):Ficoll法にて分離した凍結単核細胞(好中球≤20%)4本セット
- 3.単核細胞(大容量 1×10<sup>8</sup>個以上/bag):Ficoll法にて分離した凍結単核細胞(好中球≤20%)
4. CD34陽性細胞(1×10<sup>5</sup>個/tube):単核細胞よりMACS磁気ビーズで分離した凍結CD34+細胞(純度>90%)

■ 問 43 あなたの部署で当時、利用していた臍帯血試料はどれですか。(いくつでも)

1. 有核細胞
2. 単核細胞
3. CD34陽性細胞
4. 新鮮臍帯血
5. わからない
6. その他

■ 問 44 現在、理研BRCが提供している臍帯血試料の容量(細胞数)は以下の通りです。これについて、あなたはどのように思いますか。(各々、一つずつ)

	もっと細胞数が多い試料を提供して欲しい	適量だと思う	もっと細胞数が少ない試料を提供して欲しい
有核細胞(3×10 <sup>8</sup> 個/bag)			
単核細胞(1×10 <sup>7</sup> 個/tube)4本1セット			
単核細胞(大容量1×10 <sup>8</sup> 個/bag)			
CD34陽性細胞(1×10 <sup>5</sup> 個/tube)			

➤ この設問は、問14または問42で「臍帯血を理研BRC以外から入手している/ 入手していた」又は「理研BRC及び理研BRC以外からも入手している/入手していた」と回答した方にお尋ねします。

■ 問 45 理研BRC以外の研究用臍帯血の入手先を教えてください。(いくつでも)

1. 移植用公的さい帯血バンク
2. 大学病院の産婦人科
3. 一般病院又はクリニックの産婦人科
4. 市販品(LONZA社)
5. 市販品(STEMCELL社)
6. 市販品(その他の企業、または、企業名までは分からない)
7. プライベート臍帯血バンク
8. その他

■ 問 46 理研BRC以外の研究用臍帯血 を利用されている方にお聞きします。どのような種類の研究用臍帯血を利用されていますか？(いくつでも)

1. 有核細胞
2. 単核細胞
3. CD34陽性細胞
4. CD3陽性細胞
5. CD4陽性細胞
6. CD8陽性細胞
7. 制御性T細胞
8. HLA情報が付与されている臍帯血
9. 新鮮臍帯血(未処理/未凍結)
10. その他

■ 問 47 あなたは、理研BRCが臍帯血試料を 文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクトの一環(研究用ヒト臍帯血バイオリソース)として 提供していることをご存じでしたか。(一つだけ)

- 知っていた ⇒ 問48へ  
知らなかった ⇒ 問51へ

➤ この設問は、問47で「理研BRCが臍帯血を提供していることを知っていた」と回答した方にお尋ねします。

■ 問 48 あなたの部署で、理研BRCの臍帯血を利用していなかった理由を全てお知らせください。(いくつでも)

1. 提供手数料が高い
2. 利用手続きの書類が多い
3. MTA契約が必要だから
4. 倫理審査委員会の承認が必要だから
5. 品質に不安がある
6. 理研BRCの事業内容をよく知らない
7. 自分が必要とする細胞ではない
8. その他

➤ ここからは、問9で「臍帯血を用いた研究は、将来にわたっても行わない」と回答した方にお尋ねします。

■ 問 49 研究用ヒト臍帯血についてどのような印象を受けますか(いくつでも)

1. 分野違いでわからない
2. 幼若な細胞のイメージ
3. ヒトゲノム・遺伝子解析研究に有用である
4. iPS細胞のソースとして有用
5. プライベートバンクのイメージ
6. その他

■ 問 50 あなたは、文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクトの一環で、理研BRCが臍帯血を提供していることをご存じでしたか。(一つだけ)

知っていた ⇒問51へ

知らなかった ⇒問51へ

➤ 研究用ヒト臍帯血バイオリソースまたは理研BRCへ

■ 問 51 研究用ヒト臍帯血バイオリソースまたは理研BRCに対するご意見、ご要望等をご自由にお書き下さい。

自由記載

■ 【回答者全員へ(任意です)】重複を避け、回答内容に正確を期すため、よろしければ、あなたの機関名・所属をご記載いただければ幸いです。※氏名は不要です。※個別の回答内容を公開することはいたしませんので、ご回答により皆様にご迷惑をおかけすることはございません。

機関名・所属 自由記載